

# 志中だよい

【校訓】

進取 誠実 協力

南三陸町立志津川中学校

令和6年 1月 9日発行

## 明けまして おめでとうございます

今日から3学期がスタートしましたが、どんな冬休みを過ごしたのでしょうか。3年生は、勉強に明け暮れた冬休みだったのではないのでしょうか。正月と言えば、2、3日に大学箱根駅伝が行われ、青山学院大学の2年ぶり7度目の総合優勝で幕を閉じました。疲れを感じさせないすてきな笑顔で、横に大きく両手を広げながら、大会新記録で100回大会のゴールテープを切ったシーンに感動を覚えた人が多かったことでしょう。

今年度は、大学3大駅伝の出雲駅伝、全日本駅伝を圧倒的な強さで制した駒澤大学が優勝候補の筆頭にあげられていました。しかも、昨年度3冠（史上5校目）を達成し、5大会連続優勝中で、昨年の箱根駅伝の4区から学生3大駅伝21区間連続トップ中継を継続していました。その1強を倒すべく、各大学が色々と作戦を練り練習してきました。その中でも、青山学院大学は「負けてたまるか！大作戦」を掲げ、箱根駅伝に向けて長い距離の練習をしてきました。しかし、12月初旬に多くの選手がインフルエンザに罹るなどシード権を取ることすら危ぶまれました。直前のミーティングでも、原監督は「準優勝でいいよ。」と選手たちに話しました。選手たちは奮起しました。選手以外も含め全員がもう一度自分のやるべき事を明確にして大会に挑みました。予想どおりトップを走る駒澤大学を必死に追い、3区でトップを奪い23区間続いた連続トップ中継を崩し、その後も区間賞の走りもあり、リードを広げ往路を制しました。2年前に青山学院大学が作った記録を3分以上も更新し、往路新記録でゴールテープを切りました。復路でも、全員が箱根駅伝を初めて走るという状況ながら、やるべき事をしっかりと胸に刻み、かなり差があるにもかかわらず攻めの走りをして総合でも大会新記録で優勝のゴールテープを切りました。ゴールした後もみんな笑顔で生き生きとしている姿に、重圧の中やりきった充実感を私は強く感じとり、おもわず目頭が熱くなりました。

また、4区の給水において、父が息子にドリンクを渡すという場面がありました。父は、大学時代に箱根駅伝に出場することができませんでした。その父の夢を、息子が勝ち取り、監督の計らいで給水をしながらい息子と併走することができました。諦めないことの大切を感じるとともに、ただただ感動でした。

中学校生活はあっという間に過ぎます。精一杯努力して、自分自身が掲げた感動のゴールテープを切りたいですね。



# 第3学期始業式 校長式辞 (抜粋)

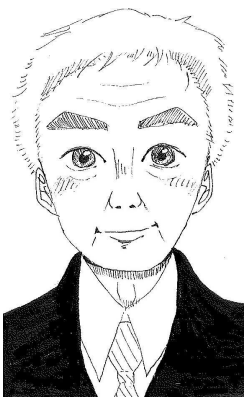
2024年、令和6年がスタートしました。17日間の冬休みも終わり、今日は、第3学期始業式です。この冬休み、皆さんは有意義に過ごしたでしょうか。2学期の終業式で、私は、「冬休み中、自己マネジメント力を高めることに挑戦してください」という話をしました。自分の目標に向かって、計画を立て、実践し、振り返り、次に生かしていこうとする意欲を高めることができましたか。さらに、家族の一員としての自分を見つめ、役割を果たし、感謝の気持ちを伝える機会になったでしょうか。新しい年を迎えたということで、誰しもが、新たな決意や抱負をもって、今日の始業式を迎えたことと思います。

そこで、新年、3学期のスタートにあたり、生徒の皆さんに改めて期待することを述べたいと思います。まずは、3年生の皆さん、いよいよ本格的な受験期に入ります。誰もが経験する試練ですが、今の頑張りが次のステージでの頑張りにつながります。今、勉強していることが入試合格のためだけでなく、これからの人生を切り開いていくための勉強であることを心に留めておいてほしいと思います。これまでの自分の取組を振り返り、後悔しないように、やるべきことに一生懸命取り組んでください。皆さんの進路が達成できることを心から願っています。また、残り少ない中学校生活。3年間の集大成であるこの3ヶ月間、仲間と共に、一生の記憶に残るような思い出を作りたいと思います。次に、2年生の皆さんは、いよいよ中堅学年から、最上級生に向けての準備期間に入ります。今まで以上に、真剣に学習に取り組む、生徒会活動、部活動、学校行事等において、リーダーシップを発揮してほしいと思います。そのためには、「できない」「やれない」という後ろ向きではなく、「できる」「やってみよう」というチャレンジ精神で、物事に取り組むことを願っています。そして、1年生の皆さんは、下級生から一つ上の上級生である中堅学年として、後輩から先輩へとと言われる立場に、大きく変わる時期になります。そこで、まずは、この3学期、1年生として、一人一人が、やり残すことなく、しっかりやり遂げて、「先輩」という二文字にふさわしい2年生になるよう、積極的に自分を高め、大きく成長することを願っています。

2024年(令和6年)の干支は、辰です。もともと十二支は、植物が循環する様子を表していて、昨年卯年は、草木が大きくなり、春の間近つぼみが花開く直前であり、今年の辰年は、その植物が大きく成長すると言われていています。つまり、龍(辰)は、陽の気が震えるように大きく動き、満ち溢れている姿から「躍動」「成長」を象徴していると言われていています。生徒の皆さんが、自分の目標に向かって、困難を乗り越え、努力を積み重ねることで、大きな成果に結び付く年になることを願っています。

最後になりますが、季節性インフルエンザやコロナ感染者が、まだまだ増加傾向にあります。これまで同様、いろいろと変化する日常生活の中で、私たちは、状況に応じ、引き続き感染防止対策を意識し、着実に実践することを再確認し、寒さに負けず、共に頑張っていきましょう。3学期、生徒の皆さんが一人一人大きく躍動し、成長していく姿を見せてくれることを期待し、始業式の式辞といたします。

## 校長としての最後のつぶやき



【生徒作】

元日に、石川県で最大震度7を観測した能登半島沖地震。津波の発生や建物の倒壊、さらに、大規模な建物火災等、大きな災害が発生しました。13年前の東日本大震災発生後、南三陸町では、石川県から多くの支援を頂いたことを、南三陸町長から直接、話を伺いました。今後、南三陸町では、被災者支援のための職員派遣や義援金、支援物資の提供等を考えていくとのことでした。このことを踏まえ、被災された多くの方々へのお見舞いや恩返しの思いを抱きながら、志津川中の教職員や生徒会で協議し、私たちの出来る支援策を考えていきたいと思っています。